

## 6 行事・イベント

### (1) 講演会

ア 「ひとのすがた、いのりのかたち—肖像彫刻の世界—」 関連講演会

「仏像の文化財修理について」

日 時 12月19日(土)

13時30分～14時30分

場 所 プラネタリウム室

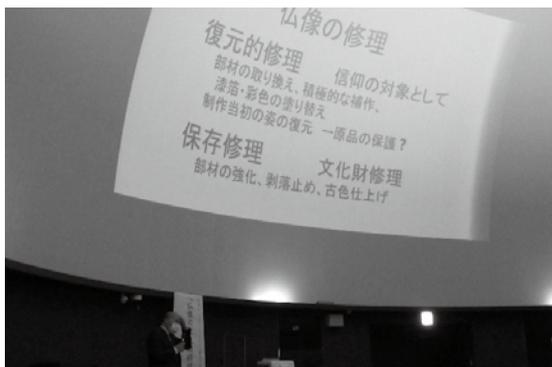
講 師 陰山 修 氏

(公益財団法人 美術院国宝修理所 所長)

参加者 32名

#### 【内容】

企画展に出品された重要文化財《木造東陵永瑛禅師倚像》(雲巖禅寺所蔵)のほか、多くの仏像彫刻や大型工芸品の修理を手がける(公財)美術院の陰山 修 所長に「仏像の文化財修理について」と題してご講演いただいた。仏像の修理には、信仰の対象として積極的に補作や彩色の塗り直しなどをする「復元的修理」と、部材の強化や剥落止めなど保存のための修理を行う「文化財修理」とがある。仏像のオリジナル「原状の姿」と今現在の「現状の姿」両方を重視しながら進められる「文化財修理」の考え方やその方法、注意点について現場の作業をふまえながら詳細にお話しいただいた(詳細は、本館報の pp. 121～131 に掲載した講演録を参照されたい)。古くから人から人へ伝えられてきたさまざまな仏像彫刻を「文化財」として、これ以上劣化・損傷しないように修理し、後世に伝えていく最先端の現場の活動を知る機会となった。



### (2) サタデーナイトミュージアム

秋のお城まつり開催期間中、旧細川刑部邸の限定開放と夜間の紅葉ライトアップが実施されることに併せ、博物館も土曜の夜に臨時開館(時間延長)した。当館への市民の関心を高めるとともに、博物館活動の多面的な魅力を伝えるために実施。



チラシ

ア 屋外展示場等のライトアップ及び竹明かり設置

博物館玄関(北側・南側)に竹灯籠のオブジェ、プロムナードに竹灯籠を設置。また、屋外展示場にはLEDライトを設置し、SL及び紅葉樹木をライトアップした。

日 時 11月21日(土)、28日(土)、

12月5日(土)

17時～21時

入場者 1日目 262人

2日目 303人

3日目 303人 合計 868人



## イ ナイトプラネタリウムの実施

投映番組「ハナビリウム」

日 時 11月21日(土)、28日(土)、  
12月5日(土)

19時～(1回投映)

観覧者 全日110名(完売)



## ウ もみじの葉っぱで絵はがき作り

紅葉の仕組みなどの解説を交えながら、モミジやイチョウの押し葉を使って絵はがきを作成した。

日 時 11月21日(土) 17時～19時

場 所 実験・工作室

担当者 山口 瑞貴(植物)

参加者 20名



## オ 縣市連携ミュージアムトーク

熊本城おもてなし武将隊の誘導により、歴史、民俗、動物、美術のミュージアムトークを実施。

日 時 11月21日(土)、28日(土)、  
12月5日(土)

18時～19時

場 所 常設展示室等

担当者 木山(歴史)、清水(動物)、  
福西(民俗)、竹原(美術)

参加者 1日目 60名

2日目 40名

3日目 50名

## エ 作って遊んでみよう「マジック・リング」

子ども科学・ものづくり教室でも取り扱っている「マジック・リング」の製作及びマジックの実演(練習)を行った。

日 時 ① 11月21日(土)

② 12月5日(土)

17時30分～21時

場 所 1F エントランス

2F オープンスペース

担当者 山口 均(理工)

参加者 ① 60名 ② 60名



## カ ダジックアース

暗闇に輝くデジタル半球儀(ドーム)に、様々な映像を投映(地球や火星の大地、その他)。

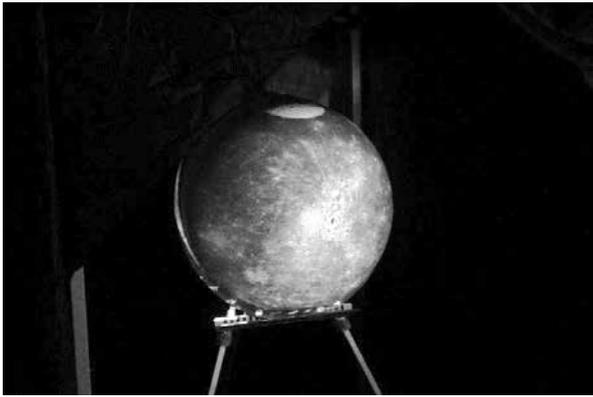
日 時 11月28日(土)

20時～20時45分

場 所 プラネタリウム前室

担当者 南部 靖幸(地質)

参加者 約50名



ダジックアース（投影の様子）

※ゴールデンウィークイベント、くまはく誕生月間イベント、通常ミュージアムトークは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施見送り。

### （3）その他

#### ア 「地質の日」企画 web 版：生命の発展と危機

「地質の日くまもと実行委員会」は、毎年5月10日の「地質の日」に合わせて合同イベントを実施しているが、今年度は新型コロナウイルスの流行のため天草でのイベント開催を中止した。

その代替として、加盟館・協会の各ホームページで生命進化をテーマとした web コンテンツを制作・公開した。

熊本博物館は熊本大学と共同で「ちきゅうといきもの しんかのれきし」というクイズページを制作し、現在も公開中である。

日 時 6月1日（月）～

担当者 南部 靖幸（地質）

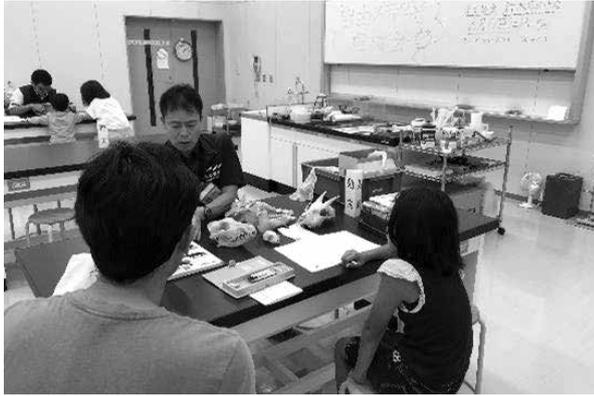


#### イ 夏休み自由研究相談会

通常、夏休み前半と後半にそれぞれ1日ずつ「自由研究テーマ相談会」と「自由研究のまとめ・標本名付け会」を実施しているが、今年度は参加者が密な状態になるのを防ぐため、期間中は随時受け付け、各担当学芸員と調整のうえ個別に対応した。

担当者 学芸班職員

参加者 12名



### ウ 海の日企画

「ちりめんモンスターを探してみよう！」

「ちりめんじゃこ」の中から様々な生物をより分け、見つかった生物の生態的特性から、なぜその集団とともに採集されたのか考えた。また、ちりめんが採集される地域の海岸の写真も見せ、海的环境についても考えるきっかけとした。

日 時 7月23日(木・祝)

- (1)10時～10時40分
- (2)13時30分～14時10分
- (3)15時～15時40分

場 所 実験・工作室

担当者 清水 稔(動物)

参加者 計64名

### エ 夏休み化石観察会

小学生以上の子どもたちや保護者を対象に、大型バスで天草の化石産地に行き、露頭の観察や転石の採集などを行った。また、道中では車窓から見える地形や、その成因となる地質を紹介した。

参加者のうち希望者には翌日、博物館内で化石のクリーニング体験を実施した。

日 時 8月1日(土) 9時～17時

場 所 熊本県天草市龍ヶ岳町

担当者 川路 芳弘氏(錦ヶ丘中)

南部 靖幸(地質)

清水 稔(動物)

参加者 14名

(うちクリーニング体験参加 6名)



### オ カラフルアンモナイトをつくろう！

お湯であたためると軟化する樹脂を使い、簡易的なアンモナイトのレプリカづくり体験を行った。

日 時 8月9日(日)

- (1)10時～10時20分
- (2)13時40分～14時
- (3)15時40分～16時

場 所 実験・工作室、

担当者 南部 靖幸(地質)

参加者 計58名

### カ 押花グッズを作ろう！

身近な植物の押し花を使って缶バッジやキーホルダーなどのオリジナルグッズを作成し、葉や花の形の多様性に目を向けてもらう機会とした。

日 時 8月10日(月・祝)

- (1)10時～11時
- (2)13時40分～14時
- (3)15時40分～16時

場 所 実験・工作室

担当者 山口 瑞貴(植物)

参加者 計39名

### キ 顕微鏡で見てみよう

双眼実体顕微鏡や、正立顕微鏡、偏光顕微鏡を使い、昆虫の鱗粉や複眼、鳥のペリット内容物、各地の砂粒、砂鉄、火山灰、微化石、砂やすり、岩石の薄片標本など、さまざまなものを自由に観察できるイベントを行った。動物担当学芸員による魚

の解剖実演も実施した。

日 時 9月21日(月・祝)

(1)10時～12時

(2)14時～16時

場 所 実験・工作室

担当者 清水 稔(動物)

南部 靖幸(地質)

参加者 計138名



### ク 古生物の「クリスマスツリーかざり」をつくろう!

クリスマスに合わせ、お湯で軟化する樹脂を使ってアンモナイト型や三葉虫型のクリスマスツリーオーナメントの製作活動を実施。樹脂を冷ます待ち時間にはクリスマスにちなんだ古生物クイズを行った。

日 時 12月20日(日) 10時～15時

場 所 実験・工作室

担当者 南部 靖幸(地質)

参加者 38名

